

# 長根だより

令和4年2月15日

No. 10

長根小 学校通信

【校訓】 強く 明るく よく励む

## 子どもたちに元気づけられています

長根小学校長 弓削 善靖

この長根だよりが配付される日は、本来であれば感謝の会を予定していた日です。子どもたちも、授業参観・感謝の会と2日間続く3学期の行事を充実させるべく、本番を楽しみに準備を進めていました。各学年の担任も行事の担当者も同じ気持ちでした。制限はあるものの実際に顔を見て感謝の気持ちを述べる、あるいは頑張っている姿を見てもらうというのはとても大切なことだと考えましたので、オミクロン株のピークアウトが2月には来るのではないかと予想しながら決定を遅らせてきましたが、新規感染者は減る傾向にはありませんでした。大変残念でしたが、2月3日に中止の決定をし、2月4日にお知らせの文書を配付しました。

子どもたちの頑張る姿は、生ではありませんが動画にて配信をすることとしました。同じ空気感を味わいながら、同じ時間を共有することができないのは本当に残念です。しかし、私たち大人がそこにいつまでもそんな思いでとどまっているわけにはいきません。私たちには、子どもたちに現状をピンチではなくチャンスととらえさせ、さらに成長できる機会とさせて前に向かって進んでいけるように導いていく責務があります。

「我々大人が頑張らねば」と思っている一方で、子どもたちは現状を受け入れ、奮闘の日々を過ごしています。距離をとり、時間を短くしながらも、コミュニケーションを取り合って主体的な学びを深めています。児童会や委員会のリーダーたちは、決められた活動を教員の主導で行うのではなく、現状を客観的に見て、長根小学校や長根連区にとって必要な活動を考え、創造的な活動を進めるようになりました。子どもたちは「頑張らねば」と考えている大人以上にとっくに頑張っています。彼らはすでにピンチをチャンスにしつつあります。素敵な長根っ子たちです。



左：総務委員会あいさつ運動

右：ランチ委員会食べようデーの相談

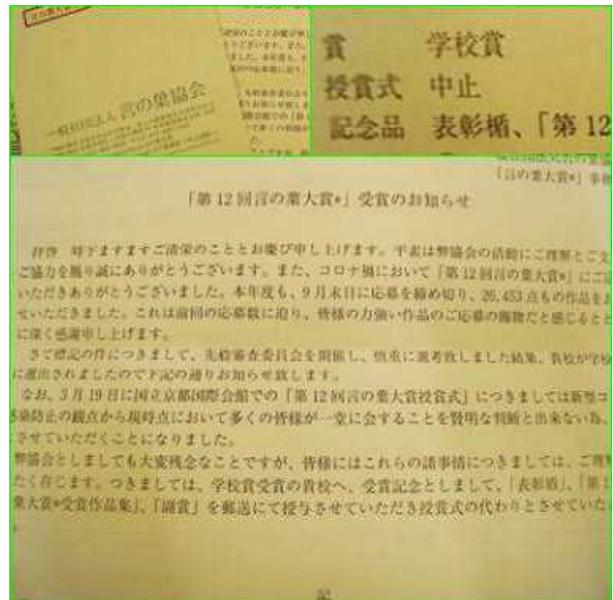
# 言の葉大賞 学校賞受賞

## 全国表彰です！

一般社団法人「言の葉協会」が主催する本年度の「言の葉大賞学校賞」に長根小学校が選ばれたとのお知らせが届きました。「言の葉大賞」は今回で12回目を迎えます。今回、長根小学校の5年生の皆さんが挑戦し、「道」をテーマとした原稿用紙2枚ほどの作文を書いて応募しました。

学校賞にはここ2年間は全国で7~8校が選ばれています。受賞校を見てみると、大学の附属小学校、私立小学校や受賞常連校が並んでいます。その中に長根小学校が入ることができたのは大変栄誉なことです。

授賞式は、国立京都国際会館で行われる予定でしたが、コロナ感染防止のため中止となり(残念です)、盾と副賞等が送られてくることになっています。5年生の頑張りを讃えたいと思います。



言の葉協会より届いた文書

# 「やらねばならぬ」を「やれたらいいな」に

今年度は、PTAを組織改編し、地域学校協働本部に位置づけました。PTAの役員を必要最小限にし、活動の質を変えていくことを目指しました。

PTA役員さんたちは、「やらねばならぬ」PTA活動を「こんな活動がやれたらいいな」に変えることができれば、PTAの硬化しかけていた組織を、『子どもたちのために大人たちができること』を真正面にとらえて柔軟に活動する組織に変えることができると考え、勇気をもって変化を模索してくださいました。来年度も、ボランティア活動の取りまわしを中心的な役割とする役員とねこSAPOさんが協力し合う形での活動がさらに発展をしていくことが期待されています。

ボランティアの登録者は、3年間に比べて3倍になりましたし、ボランティアにかかわってくださった方の延べ人数は、学校の中でおこなわれた活動だけでも800名を軽く超えています。この数字に入っていない「葉っぱの会」や「見守り隊」、さらには地域で行われている活動(地域力向上委員会の“連”での活動)も加えれば、長根連区が地域と保護者と学校が一体となって子どもを育てる活動には、とんでもない数の方がかかわってくださっているのです。本当に素晴らしいことです。

市長さんがおっしゃいました。「長根連区は今ノリノリだ。」素敵なほめ言葉です。

## 現在のねこSAPOの形

